

令和 6 年度第 2 回研究 WG(全体)活動報告

はじめに

倫理委員会では、令和 6 年 7 月 5 日開催「第 14 回技術者倫理フォーラム」の運営及び発表内容の確認について。また、令和 6 年 10 月 4 日(金)～7 日(月)開催「第 50 回技術士全国大会(札幌・北海道)」の運営等について令和 6 年 6 月 19 日(水)に令和 6 年度第 2 回研究 WG(全体)を出席者 21 名(会場 18 名、Web 3 名)によって、(株)ドーコン 1 階 A 会議室にて開催しましたので報告します。

1. 第 14 回技術者倫理フォーラムについて

(1) フォーラム実施内容

令和 6 年度開催の第 14 回技術者倫理フォーラムを 7 月 5 日(金)にホテルポールスター札幌にてハイブリッド方式で開催し、Web 配信の参加定員数は 100 名程度を予定しています。今回は広く技術者倫理について啓発する事を目的として、新たに旭川サテライト会場を旭川市ときわ市民ホール第 2 会議室(定員 50 名)にて開催を致します。

講演については、小樽商科大学大学院の泉貴嗣准教授による「技術者と生活者、2 つの人格の統合」についての基調講演を頂き、倫理委員会からは、WG 活動報告として「信頼される技術者になるために～北の大地からの提案～」を過去班、現在班、未来班の三部構成として各 20 分庭田委員、長谷川幹事、小川幹事が発表を予定致しております。

今回初めて開催するサテライト方式は、地方の技術士やこれから技術士を目指す技術者のために開催するもので、少しでも参加しやすい環境を提供することで、地方技術者にとっても効果的な倫理教育の場となる事が期待されています。旭川サテライト会場の運営にあたっては、道北技術士委員会の幹事の皆様の快諾を頂いてご協力を頂きました。



開催状況(株)ドーコン(1 階 A 会議室)

(2) フォーラム発表内容

第 14 回技術者倫理フォーラム発表内容について過去班、現在班、未来班において各担当者によって発表し再確認を行いました。

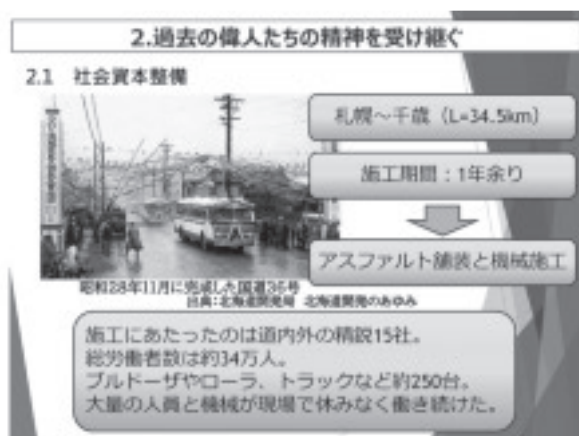
【過去班】技術者倫理の生い立ちを明治期の文明開化を起点とし、北海道の開拓と社会資本整備に大きく貢献した廣井勇氏と青山士氏の足跡を辿ることから始めました。彼らの技術者としての志や倫理観の原点には、宗教や思想が大きく影響を与えており、その倫理観が現代の技術者にどのように受け継がれているのかを考察しました。

廣井氏は、武士道やキリスト教に影響を受けた技術者で小樽港北防波堤などの工事に関わり、青山氏は廣井氏の門下生として教育を受けパナマ運河工事などで大きな成果を挙げました。彼らの思想や倫理観は、「土木技術者の信条及び実践要綱」に反映され、現行の倫理規定に引き継がれています。それらによって倫理観が未来へ確実に継承されました。

【現在班】偉人たちは公衆の福利を重視していました。この精神が現代の北海道の技術者たちにどのように引き継がれているのか、またその根幹が変わっ

ていないのかについて検証します。一般国道36号の弾丸道路建設は、当時の技術者たちがアスファルト舗装や機械施工を導入し、短期間での完成を成し遂げました。また、災害復旧にも尽力し、地域の復興に貢献してきました。

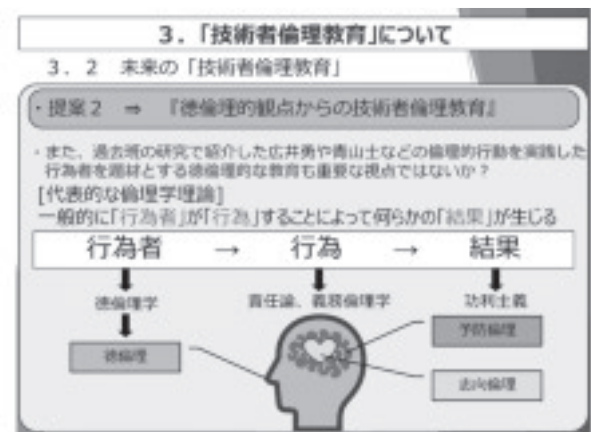
しかし、時代の変化により、公共工事が「官」から「民」に移行し、コマーシャルイズムの台頭や利益至上主義が広がり、倫理観だけで技術者が行動することが難しくなることで予防倫理が必要となりました。技術者が技術力を公衆の安全・福利に活かし、正義を追求するためには、倫理観を持つことが不可欠です。ただし、「～べからず」の予防倫理一辺倒では、技術者としての魅力を感じられない恐れがあるため、技術者の未来像を考えると予防倫理ともう一つのプラスアルファが必要ではないでしょうか。



【未来班】「予防倫理と志向倫理」、「技術者倫理教育」、そして「技術者の Well-being」の三つのキーワードに焦点を当てています。予防倫理は、間違った行動を未然に防ぐための「責任論」、志向倫理は幸福な社会を目指す「幸福論」として位置づけられています。未来班は、予防倫理と志向倫理どちらか一方という事ではなく、これら二つの倫理を組み合わせる多角的な視点が未来の技術者には重要であると提案します。

技術者倫理教育には、予防倫理のカリキュラムに加え、幸福論である志向倫理や過去の偉人の足跡に学ぶ徳倫理のカリキュラムも追加することが必要です。また、「技術者の Well-being」は個人と職業人としての二つの側面を持ち、技術力の向上と社会貢献が融合することにより、技術者自身の幸福

感をもたらすと考察しました。



この発表を受けて、各委員からは活発な意見が交わされました。未来への展望に関して「現代の技術者を取巻く環境は多様化しており、技術の提供だけではなく、課題解決力が求められている」これに関しては各委員の共通事項として再認識され修正案についてまとめて行きました。

2. 第50回技術士全国大会について

(1) 技術者倫理情報連絡会

技術者倫理情報連絡会については、令和6年10月4日(金)13:00～16:30、かでの2・7の820会議室にてハイブリッド方式にて開催するため、当日スムーズな運営をするために同じ820会議室を次回の令和6年度第3回研究WGで使用する事を確認しました。その他として技術士全国大会記念誌の原稿締切が7月末であるため、各担当者は原稿依頼や原稿作成等について再確認を致しました。

おわりに

第50回技術士全国大会(札幌・北海道)を令和6年10月4日(金)～7日(月)に開催致します。5日(土)札幌パークホテルにて9:30～12:15より開催する第1分科会(技術者倫理)は「技術者よ、大志を抱け～過去から現在そして未来へ～」を分科会テーマとして、北海道大学大学院蔵田伸雄教授及び日本技術士会統括本部倫理委員会塩原亮一委員長による講演と北海道本部倫理委員会の研究活動報告を発表致します。

参加については日本技術士会北海道本部のHPよりお申込みください。皆さんの参加をお待ちしております。